

18. 激動する東アジアと日清・日露戦争(2) / 近代の産業と文化の発展

韓国併合	…ポーツマス条約後、日本は韓国の外交権を握り、①を置いて保護国化 →初代統監は伊藤博文^{いとうひろぶみ} →内政の実権も握り、軍隊を解散→韓国で義兵などの抵抗運動、伊藤博文が暗殺される →1910年、韓国を領有し、国名を②とする③
中国の動き	…民族主義・民権主義・民生主義の④主義を唱えた⑤を中心に、清打倒の運動 →1911年、軍隊の一部が蜂起→多くの省が呼応して清からの独立を宣言⑥ →1912年、南京で⑦の建国を宣言
製糸業と紡績業の発展	…1880年代後半、製糸業や紡績業などの⑧工業が急速に発展 →⑧工業中心に、⑨革命が進み、資本主義が確立
重工業の発達	…日清戦争後、官営の⑩を設立→1901年から鉄鋼を生産 →日露戦争後、重工業が発達し、貿易では輸入が輸出を上回る状態が続く
社会運動	…工業化の進展により、工場で働く労働者が増加、厳しい条件のもとで就業 →片山潜^{かたやせん}らが労働条件を改善しようとする運動を指導 労働組合が結成され、⑪がおこる →1900年、労働運動を取りしめる⑫法制定 →日露戦争後、労働条件の改善を目指す⑬法制定 ⑭が初の社会主義政党の社会民主党を結成→直ちに解散 1910年、⑭ら社会主義者が捕らえられて処刑^{しゅけい}される⑮事件がおこる
公害の発生	…足尾鉾毒事件→⑯が操業停止や被害者救済を求める運動を進める

▼教育と学問

教育	1886年、⑰令制定…義務教育は4年 1890年、忠君愛国や父母への孝行を説く教育勅語發布 日露戦争後、義務教育が6年間に延長
大学	国立 東京大学 女子師範学校(現在のお茶の水女子大学) 私立 ⑱…女子英学塾
学問	⑲…破傷風の血精療法 ⑳…黄熱病の研究

▼西洋文化と伝統文化

美術	日本画…⑲や フェノロサが価値を見直す 横山大観など 洋画…㉒「湖畔」
音楽	㉓…「荒城の月」
文学	㉔…『坊っちゃん』 ㉕…『にごりえ』 坪内逍遙…『小説神髓』など